

台風14号接近に伴う臨時休業について

昨日より、急な臨時休業に対応していただきありがとうございます。台風14号は、九州北部に近づいています。現在は、雨、風とも強くはありませんが、安易に外出などせず、くれぐれも安全に過ごすようお子様へお話しください。お昼前の決定だったために、本日分の家庭学習については十分に準備できていません。読書や自分で範囲を考えた復習、おすすめ学習 Web サイトを閲覧する等の自主的な学習に取り組むようにも合わせてお話いただければと思います。

明日より三連休となり学校は閉まっています。緊急の連絡事項がある場合は、緊急連絡用学校 Eメール kawarasho8920017@gmail.com 宛に送信ください。

「史上最年少で3冠達成」のニュースから

将棋の藤井聡太2冠が、タイトル戦で勝利して3冠を達成したとのニュースが流れました。新しい世代のヒーローであり、「史上最年少」の記録を次々と塗り替える藤井さんの活躍は、しばしば大きな話題になります。将棋は駒の動きを知っているくらいで詳しくはないのですが、彼の考え方や言動は自然体であり、かつ強い信念を感じて興味をもっています。加熱する周囲の状況の中でも、いたって淡々と自分の思いを語っています。

今回も、「プロがうなる手」によって、勝利をつかみました。この一手は、「将棋 AI の候補手にもなかった」そうです。

去年も、『4億手を読む将棋 AI』が、候補手としてあげなかった一手を指し、別のタイトルを取ったと記憶しています。



ARTIFICIAL INTELLIGENCE



彼の活躍するニュースから、私たちの暮らしと AI との関係が少し見えてくるように思っています。

AI の能力を高めるためには、これまでのデータ（将棋であれば対戦の記録）をなるべく多く学習させた上で思考（計算処理）させます。今では、AI が、自身でデータを学習していくようにもなっているそうです。

しかし、データには、その時々の中の雰囲気や感じた感覚は表れていません。相手との微妙な空気感も含まれていないでしょう。あくまでも学習したデータの中での、最も適した答えを導き出そうとするのです。

AI の特性を表す言葉に、「AI は将棋で負けそうになった時に、将棋盤をひっくり返すという発想はできない」があります。「AI は将棋で負けそうになった時に、心から相手に『待った』をお願いしてやり直しをさせてもらう」は、私が考えた AI を超える手です。

データ処理は AI に任せて、その先の感覚的、創造的な「一手」を打つことができる人に成長してほしいと思っています。

話は藤井さんに戻りますが、彼は将棋のトレーニングに積極的に AI を使っているそうです。対局のあとは自分の打った手を学習させ、AI に分析してもらうこともするそうです。将棋 AI はいくつかあって処理の仕方がそれぞれ違うそうで、それに合わせて結果の分析に生かすとも語っています。「AI を超えることができる人は、AI の使い方もよく理解している人だとも言えるのでしょう。」